

ICOM 取扱説明書

AUTOMATIC ANTENNA TUNER AH-6

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、アンテナ直下型、防水/防塵機構設計のHF+50MHzオートアンテナチューナーです。

ご使用の際は、本書をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

ICOMのロゴ、ICOMの名称、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複製/転用することは、禁止されています。

アイコム、ICOM、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複製/転用することは、禁止されています。

アイコム株式会社			
547-0003 大阪市平野区加美南1-1-32		A7860W-1J Printed in Japan	
202603		© 2026 Icom Inc.	

防塵/防水性能

- 本製品は、IP54(防塵形と防まつ形)の防塵/防水性能があります。次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。
- 分解や改造をしたとき
- 水や海水につけたとき
- 蛇口から水や湯を直接当てたとき
- −10℃〜+60℃以外の環境に設置したとき
- 本書に記載する設置や接続方法と異なるとき
- 自己融着テープ(付属品)をアンテナコネクタに巻いていないとき
- 落下等外的衝撃により、ケースの変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- 雨の中や、水滴が付着、またはぬれた手でケーブルを付けたり、はずしたりしたとき

IP表記
製品の防塵/防水性能を表すための表記です。また、保護等級を規定しない場合は、その等級の表記に該当する数字の部分を「X」で表記します。
本書で記載する保護の程度
IP5X(防塵形) : 試験用粉塵を1m ³ あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、機器として動作すること
IPX4(防まつ形) : いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと

ICOMのロゴ、ICOMの名称、ICOMロゴは、アイコム株式会社の登録商標です。本書に記載されている会社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。仕様、外観、その他の内容については、改良のため予告なく変更されることがあり、本書の記載とは一部異なる場合があります。最新の内容は、弊社ホームページで公開しています。本書の内容の一部、または全部を無断で複製/転用することは、禁止されています。

屋上やベランダ(人が出入りするところなど)に本製品を設置する場合は、その高さが人の歩行、その他起居する平面から2.5m以上はなして設置してください。(電波法施行規則 第3節 安全施設 第22条、第25条参照)
けが、感電、故障の原因になることがあります。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、アンテナ直下型、防水/防塵機構設計のHF+50MHzオートアンテナチューナーです。ご使用の際は、本書をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

安全上のご注意

- 使用者および周囲の人への危害や財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 次の「△危険」、「△警告」、「△注意」の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△危険	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
△警告	これを無視して誤った取り扱いをすると「使用者および周囲の人が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
△注意	これを無視して誤った取り扱いをすると「人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

免責事項について
地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、本製品の違法な使用、お客様または第三者が取扱説明書とは異なる使用方法で本製品を使用することにより生じた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、アンテナ直下型、防水/防塵機構設計のHF+50MHzオートアンテナチューナーです。ご使用の際は、本書をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

- **引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。**引火、火災、爆発の原因になります。
- **送信中、またはチューニング中は、絶対にアンテナに触れないでください。**また、**容易に人が触れる場所には絶対に設置しないでください。**火災、感電、故障の原因になります。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、アンテナ直下型、防水/防塵機構設計のHF+50MHzオートアンテナチューナーです。ご使用の際は、本書をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

- **分解、改造しないでください。**火災、感電、故障の原因になります。
- **万一、煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするなどの異常がある場合は、使用しないでください。**そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。すぐに接続している無線機の電源を切り、煙が出なくなるのを確認してからお買い上げの販売店、または弊社HFサポートセンター i USE(アイユース)にお問い合わせください。

- **送電線や配電線の近くには、設置しないでください。**ケーブルなどが触れ、ショートや発熱により感電や火災の原因になります。
- **雷が鳴り出したら、機器やケーブル、アンテナには、絶対に触れないでください。**また、**屋外での設置作業をしないでください。**火災、感電の原因になります。
- **下記の事項を守らないと、けがの原因になります。**
 - 足場の不安定なところで、設置工事をしないでください。
 - 人の通行をさまたげる場所には、設置しないでください。
- **下記の事項を守らないと、けがや故障の原因になります。**
 - 強度の不足する場所や不安定な場所には、設置しないでください。
 - 強度の不足する部材や腐食しやすい部材には、設置しないでください。
- **下記の事項を守らないと、火災、感電、故障の原因になります。**
 - ケーブルの上に重いものを載せたり、挟んだりしないでください。
 - ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、アンテナ直下型、防水/防塵機構設計のHF+50MHzオートアンテナチューナーです。ご使用の際は、本書をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

- **アンテナの未接続や2本のアンテナを同時接続して送信しないでください。**また、**ANTスイッチをアンテナ未接続側に切り替えた状態で送信しないでください。**火災、故障の原因になることがあります。
- **電気・電子機器の近くに設置しないでください。**テレビやラジオなどに受信障害を与えたり、プレーカーなどの機器が誤動作したりする原因になることがあります。






- **自宅や近隣の住宅に電波障害を与える場所での設置や使用をしないでください。**電波障害を与える原因となることがあります。
- **−10℃〜+60℃以外の環境では使用しないでください。**記載の温度範囲以外で使用すると、故障の原因になることがあります。
- **落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。**けが、故障の原因になることがあります。
- **清掃するときは、洗剤や有機溶剤(シンナー、ベンジンなど)を絶対に使用しないでください。**ケースが損傷したり、塗装がはがれたりする原因になることがあります。ふだんは、乾いたやわらかい布でふき、汚れのひどいときは、水を含ませたやわらかい布をかたく絞ってふいてください。

本製品の特長

- **広範囲のチューニングレンジ**
下記の周波数範囲でマッチング(整合)に対応しています。
 - ・1.8～54MHz(30m以上のワイヤー、または同調型アンテナ(50Ω系)を接続時)
 - ・3.5～54MHz(7m以上のワイヤーを接続時)
- **同調型アンテナ(50Ω系)の接続に対応**
16.7～150Ωの範囲でマッチング(整合)に対応しています。
※非同調型(ロングワイヤー)と同調型(50Ω系)の2つのアンテナが同時に接続された状態で送信すると、使用していないアンテナを破損することがあります。
- **メモリー機能**
マッチング状態を最大200波まで記憶します。カウンター内蔵により、約1秒(同一周波数で運用時)でチューニングを取ります。
- **不要電力低減機能**
チューニング動作時、アンテナエレメントから放射する電力を約0.3Wに抑え、他局への妨害を極力抑制します。
- **防塵・防水機構(IP54)**
IP54(耐塵形と防まつ形)の性能に対応できるよう設計されています。成形防水・耐候・塩害防止構造により、屋外で使用できます。

付属品

		
コントロールケーブル (約10m(アース線を除く))	防水キャップ	六角ボルト(M6×50)

				
タッピングネジ (A0 6×30)	平ワッシャー (M6 大)	平ワッシャー (M6 小)	Sワッシャー (M6)	ナット(M6)

			
Uボルト	マストクランプ	自己融着テープ (約50cm×2)	結束バンド

設置工事について
設置工事の際、建造物の破損、高所や足場の悪い場所での作業に伴う製品の落下やけがをしたことによる損害、またはその他のどのような場合においても、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
なお、高所や足場の悪い場所に取り付ける必要がある場合は危険が伴いますので、必ず専門業者にご相談ください。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、アンテナ直下型、防水/防塵機構設計のHF+50MHzオートアンテナチューナーです。ご使用の際は、本書をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

周波数範囲	○非同調型アンテナを接続時* <ul style="list-style-type: none">1.8～54MHz(全長30m以上のワイヤーアンテナ) 3.5～54MHz(全長7m以上のワイヤーアンテナ) ○同調型アンテナ(50Ω系)を接続時* <ul style="list-style-type: none">1.8～54MHz(負荷16.7～150Ω 不平衡) ★同時接続禁止(送信による漏洩電波により、使用していないアンテナが破損することがあります。)
--------------	--

入力インピーダンス	50Ω
最大定格入力電力	120W
チューン時電力	10W(5～15W)
チューニング時間	平均2～3秒(最大15秒)
定格電圧	DC13.8V±15%
定格電流	0.6A以下
接地方式	マイナス接地
使用温度範囲	−10～+60℃
整合精度	VSWR 1:2以下(アンテナエレメントの長さが1/2波長、およびその整数倍付近の周波数を除く)

メモリーチャンネル数	200ch
外形寸法	172(W)×230(H)×71(D)mm(突起物を除く)
重量	約1.25kg(付属品を除く)

設置場所

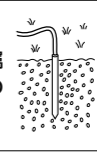
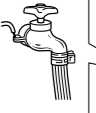
本製品は、以下のことを配慮した場所に設置してください。

- 振動がなく、落下の危険がない安定した場所
- 無線機本体と本製品(アンテナを含む)、ほかの製品(TVアンテナなど)と近づきすぎない場所
- 本製品に接続されたコントロールケーブルや同軸ケーブルが強く引っ張られる状態や、本製品から垂れ下がった状態にならない場所
- 近くに強力な電波を発射する電波塔などがない場所
- 近くに倉庫などのような金属製の構造物がない場所
 - ※アンテナの電波が放射される先に金属製の外壁、手すり、柱があると、電波が乱反射するおそれがあります。
- 避雷針の設置など、直雷対策がされている場所
- 風の影響で揺れて、外壁やほかの製品と干渉しない場所

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、アンテナ直下型、防水/防塵機構設計のHF+50MHzオートアンテナチューナーです。ご使用の際は、本書をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、アンテナ直下型、防水/防塵機構設計のHF+50MHzオートアンテナチューナーです。ご使用の際は、本書をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

- 本製品のアースは、必ずGND端子から取ってください。
- 接地のしかた
 - 大地へのアース(アース棒による接地)、またはカウンターポイズなどがあります。
- カウンターポイズとは
 - 接地型アンテナで、良好なアースが取れないときに、アース(大地)の代用として、張るワイヤー(線)のことです。
 - ワイヤー(線)は、ワイヤーアンテナと同じ長さ以上を大地にはうように張ってください。

YES! 銅製などの金属棒をアース線の先に取り付ける。		NO! 水道管やガス管には、アース線を絶対に接続しない。	
GND端子		= 接地する	

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、アンテナ直下型、防水/防塵機構設計のHF+50MHzオートアンテナチューナーです。ご使用の際は、本書をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

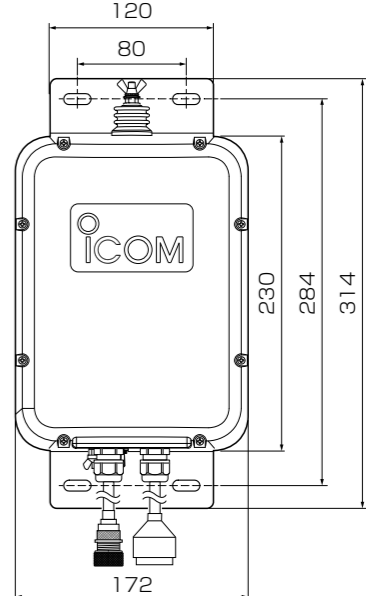
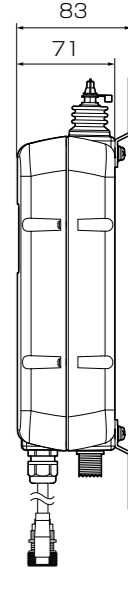
別売品

OPC-1465 : コントロールケーブル(約10m : 付属品と同一)

別売品についてのご注意
弊社別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をご使用ください。
弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障、または動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本製品は、アンテナ直下型、防水/防塵機構設計のHF+50MHzオートアンテナチューナーです。ご使用の際は、本書をよくお読みいただき、本製品を正しくご使用ください。

設置場所を決定する際の参考にしてください。(単位 : mm)

	
---	---

アンテナの接続

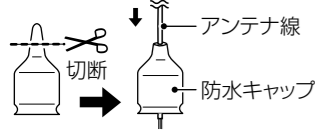
アンテナ接続時のご注意

- アンテナを2つのアンテナ端子に同時接続しないでください。送信したときの漏洩電波により、使用していないアンテナが破損することがあります。接続後は、「ANTスイッチの切り替えと無線機の接続」の図を参考に、ANTスイッチで整合(マッチング)経路をアンテナが接続されている端子側に切り替えてください。
- 下図のように自己融着テープを巻いて防水処理をしないと、水分が入り込み、本製品が破損する原因になることがあります。
※市販の粘着ビニールテープを自己融着テープの上から巻くと、耐久性が高まります。

下記の手順を参考に、使用するアンテナを非同調型(ロングワイヤー)、または同調型(50Ω系)用のアンテナ端子のいずれか一方に接続します。

■ ロングワイヤーアンテナだけを接続する場合

① 防水キャップの先端を切断し、アンテナ線を通す

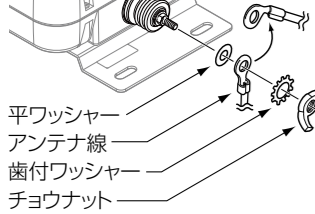


② アンテナ線をラグ端子に圧着、またはハンダ付けする

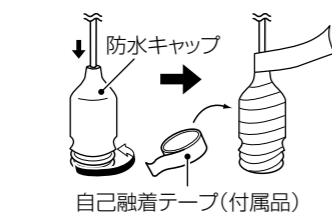


③ アンテナ線を接続する

ラグ端子をチョウナット側に曲げて固定する

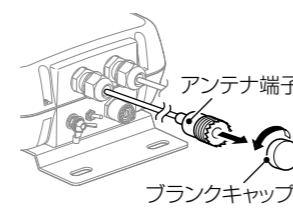


④ 防水キャップをアンテナ端子に被せて、自己融着テープを巻く

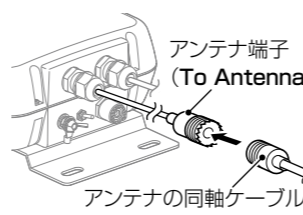


■ 同調型(50Ω系)アンテナだけを接続する場合

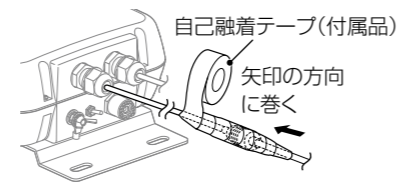
① アンテナ端子からブランクキャップをはずす



② アンテナの同軸ケーブルと接続する



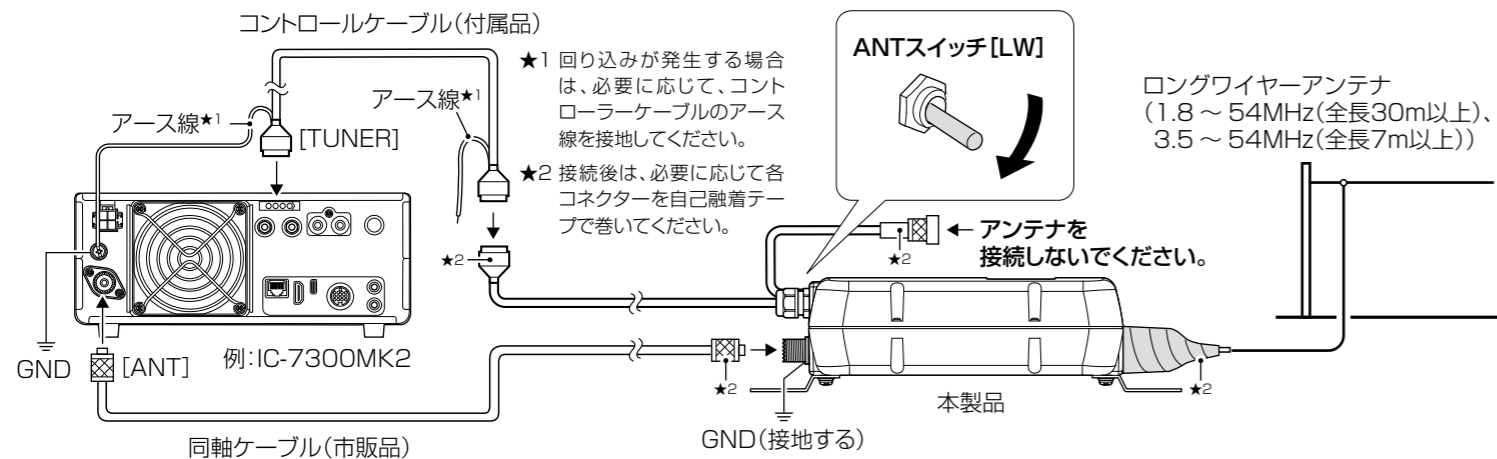
③ 自己融着テープをコネクタの上から矢印の方向に巻く



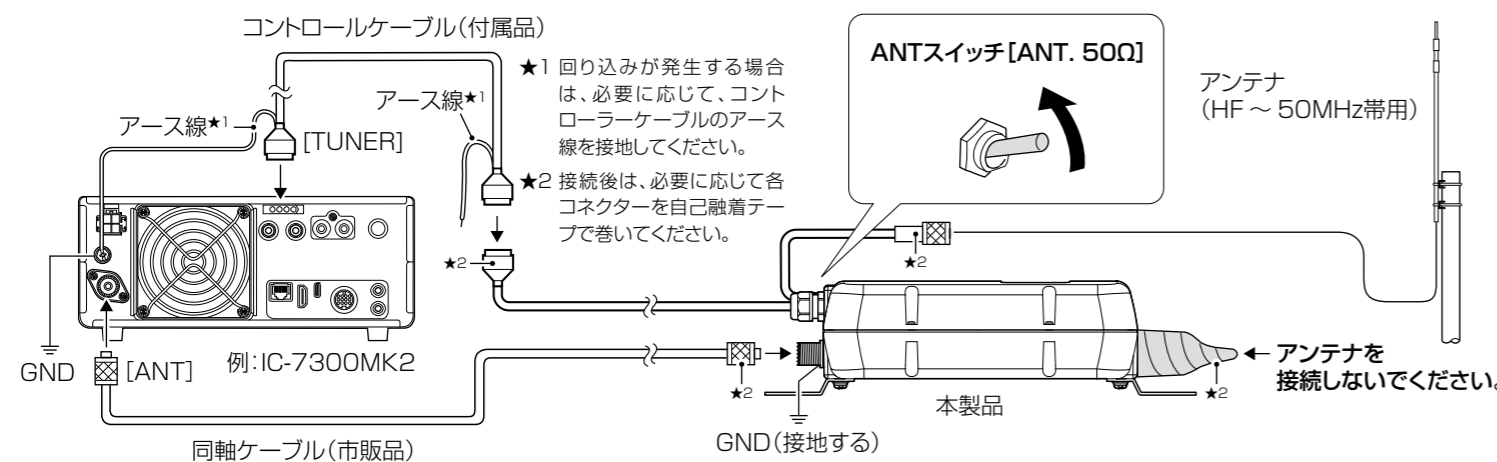
ANTスイッチの切り替えと無線機の接続

下図のように、本製品のANTスイッチで整合(マッチング)経路をアンテナが接続されている端子側に切り替えてから、無線機のアンテナコネクタに本製品を接続します。

■ ロングワイヤーアンテナで使用する場合

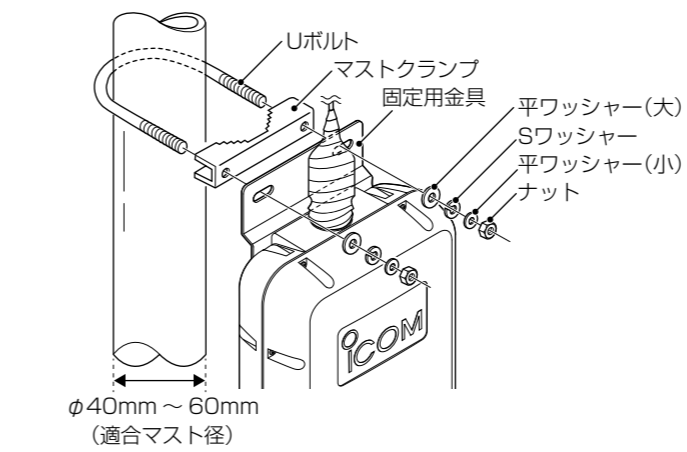


■ 同調型(50Ω系)アンテナで使用する場合

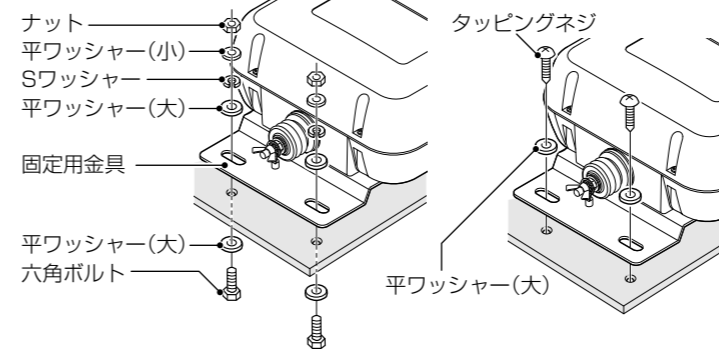


設置のしかた

■ Uボルトで固定する場合

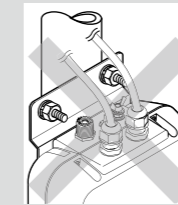


■ 六角ボルトやタッピングネジの場合



設置時のご注意

- コントロールケーブルや同軸ケーブルを無線機と接続後、各コネクタを自己融着テープで巻いてください。
- ロングワイヤー用アンテナ端子を上にして、傾かないように固定してください。本製品のANTスイッチが下を向くように取り付けてください。※右図のような向きに取り付けると、浸水やANTスイッチが腐食する原因になることがあります。

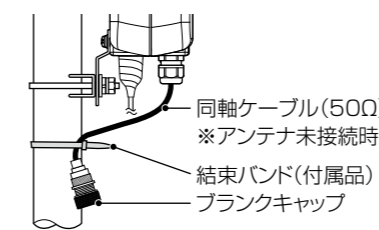


- 本製品の固定用金具は、GND端子とは接続されていませんので、アース端子として使用しないでください。
- マイクロホン、およびマイクコードをコントロールケーブルや同軸ケーブルに近づけないでください。
- コントロールケーブルや同軸ケーブルの余った束を、無線機本体、または本製品のすぐ近くに置かないでください。

同調型(50Ω系)アンテナを接続しないときは

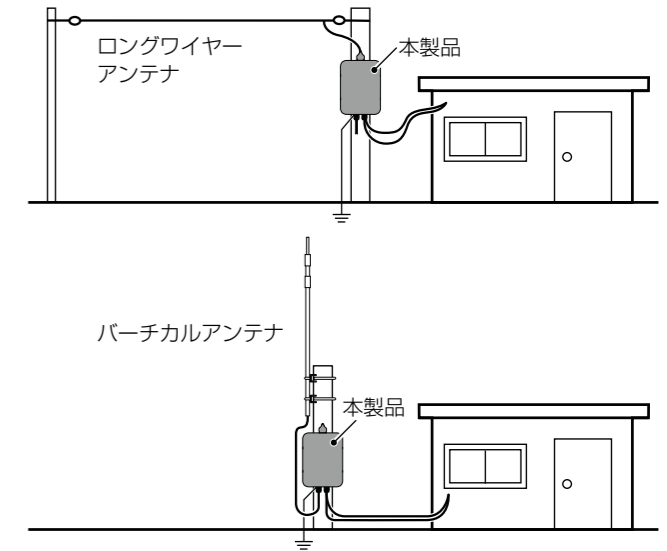
同軸ケーブルが風で揺らされて、コネクタ部分が本製品に当たらないように、付属の結束バンドで固定してください。(右図参照)

- ※アンテナ端子先端のブランクキャップは、はずさないでください。ブランクキャップの上から自己融着テープを巻いて、防水処理をしてください。



運用例

非同調型(ロングワイヤー)、または同調型(50Ω系)アンテナのどちらかを接続して運用できます。



ご注意

- 無線機と本製品は、できるだけはなして設置してください。
- 運用周波数に同調していないループ状のアンテナは、アンテナ端子をショートして送信するような動作となるため、保証対象外です。

無線機の操作(例: IC-7300MK2)

- 無線機の電源を入れます。
- 希望の運用周波数に設定します。
- TUNER**を短く押します。
 - 自動的に送信状態になり、チューニングを開始します。チューニング中は、運用モードに関係なくサイドトーンが聞こえ、**TUNE**表示が点滅(赤色)します。
- チューニングが取れると、**TUNE**表示が点灯し、本製品がONIになります。
 - ※チューニングが取れない(約15秒経過してもSWRが2.0以下にならない)ときは、**TUNE**表示が点滅(赤色)から消灯に切り替わり、自動で本製品を通さない状態(OFF:スルー)になります。
- TUNE**表示が点灯した状態で、チューニングを取りなおす場合は、**TUNER**を長く(約1秒)押します。
- 本製品をOFF(スルー)にするときは、**TUNER**を短く押します。
 - **TUNE**表示が消灯します。

- ※本製品を接続すると、無線機の内蔵アンテナチューナーは、自動でスルーになります。
- ※本製品を接続した無線機での操作は、ご使用になる無線機の取扱説明書も併せてご覧ください。

ご注意

- アンテナを本製品に接続していなかったり、本製品のANTスイッチの切り替えを間違えたりするなどの無負荷状態では絶対に送信しないでください。本製品や火災、故障の原因になることがあります。
- チューニングが取れない場合は、本製品のANTスイッチ、アンテナエレメントの長さ、および接続などを点検してください。また、周波数の1/2波長、およびその整数倍のアンテナエレメントに対しては、マッチングは取れないのでご注意ください。
- 無線機とアンテナとのマッチングを正確に取るために、運用周波数を変えたときは必ずアンテナとのチューニングを取ってください。
- 10W機をご使用の場合は、送信出力をハイパワー(10W)に設定してください。